



# 東海中新聞

NO. 388

令和6年4月号

## 令和6年度 全校生徒472人、 教職員53人で スタート

### 新年度に あたって

校長

四月とは思えない陽気の中、令和六年度の幕が明けました。本年度の東海中は、一年生一八三名を加え、全校生徒四七二名で離陸しました。

新年度となり、朝の廊下を歩くと、水を打ったような静けさの中、読書に集中する二、三年生の姿がありました。校門に立っていると、遠くから、「おはようございます」と、自発的なあいさつができる子が増えました。年度の切り替わりは、学校にとって大きな節目です。「今年はこんなことができるようになります」「今年はこの人になりたい」「それぞれが、心に火をともし、熱い思いでよりよい自分の姿をイメージし、目標をもったスタートが切れたことを実感しました。

さて、令和六年度は、昨年度の学校教育診断の結果を受け、学級経営と授業に力を注いでいきます。「魅力的な学校づくりは魅力的な学級づくりから」「魅力的な学校には魅力的な授業がある」これを合言葉に、教職員一同、力

を合わせて取り組んでいきます。魅力的な学級づくりの基盤としては、いじめを生む素地をつくらぬ他者を思いやる温かい学級、相手の気持ちを考えつつ自分の意見を述べる優しさや感受性を育む学級づくりを目指します。授業においても、相手を尊重した対話的な学びを重視します。学び合う過程で問題意識や持続的に学ぶ力や自らの学びを振り返り、次の学びにつなげる力を育て学習に主体的な生徒を育みたいと考えます。

また、昨今心配される様々な災害や危機への対応として、避難訓練の在り方や回数を見直し、不意に遭遇する危機に際し、適切に判断、行動できる力の育成を進めます。

今、時代は急速に新しい流れへと動いています。現代の子供たちの多様な個性に対応するため、新たな制服の導入について令和五年度のPTA役員会で提案したところ、御承認をいただくことができました。現在の制服に加えて選択できるユニバーサルスタイルの制服を、東海中の開校八〇年となる令和八年度導入を目標に、生徒や保護者の意見を聞きつつ、検討していきます。時代に合わせた学校づくりに向け、皆様の温かい御支援、御理解をよろしくお願いいたします。

# お別れの言葉

## ★転出の先生方より

十年間ありがとうございました

【河合中へ】

十年という長い間、大変お世話になりました。

ありがとうございました。たくさんのお会いがあったこの十年、東海中学校で出会ったすべての人に感謝でいっぱいです。学校へ行けば、いつも生徒の元気と笑顔にたくさんパワーをもらいました。大好きな東中生、保護者の皆様、地域の皆様に支えていただいたこの十年は私の宝物です。この宝物を胸に、これから新しい場所で頑張ります。本当にありがとうございました。

感謝を込めて

【岩津中へ】

十年間お世話になりました。十年の間に多く

の生徒と出会い、たくさんのお出ができました。東海中の生徒の皆さんは素直で心優しく、かわりあうことができうれしく思います。また、地域の方や保護者の皆様に多くの場面で支えていただきました。温かな東海中学校で働くことができ、本当に幸せでした。

生徒の皆さん、これからの生活がより充実するように、仲間たちと共に笑顔で過ごしてほしいと思います。私も「今が一番楽しい」と胸を張って言えるように、皆さんに負けずに頑張りたいと思います。ありがとうございました。

出会いに感謝を

【葵中へ】

東中生のみんなの大好きなところ。行事になると、自然と円陣を組んで心一つにする、一生懸命であたたかい雰囲気。日々の授業で、苦手なことにも果敢に取り組み前向きさ。部活動で、声をからして仲間を応援する姿。教員人生の始まりが、東海中学校であったことを誇りに思います。

そして、職員、保護者の皆様におかれましては、心温まるご指導を賜りまして、感謝しております。これまでみなさんからご指導いただきましたことを忘れず、東海中学校と同じように、新任地の子供たちを、その場所を、愛していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

ありがとうございました

【退職】

二年間の短い間ですが、お世話になりました。

皆さんは、廊下で出会うと気さくに挨拶をしてくれました。また、授業では真面目に取り組み、チーム学習では仲間を高めていこうとする姿に感心しました。

春は新しい学年、学級になります。新たな気持ちで自分で決めたことに挑戦してみてください。途中で辛くなり、投げ出したくなってもいいと思います。少なくとも挑戦しようとしたことは絶対の意味があるはずですよ。東中生のこれからの活躍を応援しています。ありがとうございました。

信念と情熱

【額田中へ】

明治時代の文豪、夏目漱石の「草枕」に、「知に働けば角が立つ、情に棹されれば流される」という一節があります。

我を通しすぎても、同情ばかりしていてもいけない。その見定めが大事だと、漱石は言っているようです。そして続いて、「とかくこの世は棲みにくい」とあります。

私は、そうした処世術をふまえながらも、最後は信念と情熱だと思っています。自分を奮い立たせる、信念と情熱を持つてください。

東海中に幸あれ

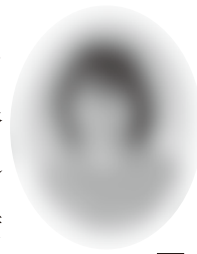
【新香山中へ】

自然あふれるこの場所で、みなさんと英語を

学習できたことをうれしく思います。楽しく授業に臨むことができたもの、なにごとにも実直に向き合うみなさんの姿があったからです。東海中学校を離れることは大変寂しいですが、

みなさんの頑張りが伝わってくるからこそ私の励みになることでしよう。「百花繚乱」—いろいろな花が咲き乱れること—すべての出会いと経験が糧となり、一輪のすてきな花を咲かせることができます。新年度を迎え、新しい仲間と共に新たなスタートを切ったみなさんを応援しています。ありがとうございます。

素敵な出会いに感謝しています



【北中へ】

一年という短い期間、さらに数学の授業中心

という限られた時間でしたが、とても気持ちよく過ごすことができました。卒業した3年生との授業では、級友にやさしく教える姿、わからないところを理解しようと質問する姿がたくさん見られ、頼もしく思いました。放課に、合唱曲を歌ってくれたこと、行事や部活動の大会へ誘ってくれたことも嬉しかったです。二年生とは数時間の関わりでしたが、明るい雰囲気であってくれ、さらに積極的に取り組んでくれた生徒が多く、活発な授業になったことが印象

に残っています。ありがとうございました。



他にも四名の教職員の異動がありました。

- (英語) 福岡中学校へ
- (保体) 奥殿小学校へ
- (事務) 根石小学校へ
- (給食補助) 退職

★転入・新任の先生方の紹介

- (英語) 岩津中学校より
- (保体) 矢作北中学校より
- (家庭) 弥富市弥富中学校より
- (理科) 城北中学校より
- (国語) 新任
- (社会) 新任
- (事務) 新任
- (英語) 常磐中学校より
- (英語) 美川中学校より
- (理科) 葵中学校より
- (数学) 岩津中学校より
- (音楽) 男川小学校より
- (社会) 竜美丘小学校より
- (国語) 大府市立東山小学校より
- (給食補助) 山中小学校より

ありがとうございました。



よろしく  
お願いします。

令和6年度 生徒会役員  
 生徒会会長  
 3年執行委員  
  
 2年執行委員





# 入学式 四月五日

## 誓いのことば

### 新入生代表

春の暖かさが感じられる今日、ぼくたちは東海中学校の入学式を迎えることができました。新しい制服を着て、中学校生活への期待と、新しい環境への緊張感をもちながら、学校の門をくぐりました。

ぼくには中学校生活で頑張りたいことが三つあります。

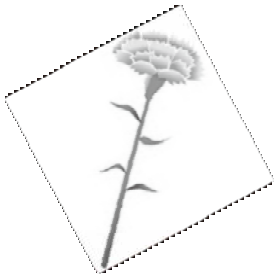
一つ目は、授業です。中学校では、小学校に比べて学習内容がさらに難しくなり、教科ごとに専門の先生が教えてくださります。学習についていけるように、日々の授業に真剣に取り組み、家庭での復習も忘れずに行いたいと思います。

二つ目は、毎日元気に登校することです。楽しい中学校生活をよりよいものにするためにも、交通安全に気を付けて通学し、体調を万全に整えて通えるようにしたいと思います。



三つ目は、行事です。入学説明会で、体育大会や修学旅行についての写真を見たり、話を聞いたりして、とても楽しになりました。どの行事も仲間と協力し、いい思い出ができるように全力で取り組みたいと思います。

ぼくたちは、今までとは異なる、新しい環境で生活することになります。慣れない生活に不安もありますが、先生方や先輩方の指導をいただき、成長していきたいと思えます。一日も早く中学校生活に慣れ、東海中学校の一員として、自ら考え行動できるように頑張ります。



## 歓迎の言葉

### 生徒会長

桜の花が咲き、あたたかな春の日差しが心地よく感じる季節となりました。一八三名のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表し、心より歓迎申し上げます。

みなさんは、本日より東海中学校の生徒となります。きっと期待と不安に胸を膨らませているでしょう。私も、入学当初は友達ができるかな、勉強が大変ではないかななど、慣れない環境に不安を抱えていました。しかし、いざ学校生活が始まると、この東海中学校の先輩方や先生方、地域の方々の温かさを知り、落ち着いて生活を送ることができました。

中学校はとても楽しいところです。体育大会では、学年を超えて盛り上がる活動ができ、文化祭では、合唱を通してクラスの団結や絆が強まり、素敵な思い出ができると思います。

もしかしたら、中学校の生活で新たな経験をする中、壁にぶつかって立ち止まってしまうことがあるかもしれません。そんなときは、諦めるのではなく、仲間と手を取り合って助け合ったり、私たちが先生方を頼ったりしてくださいます。みなさんのことを真剣に考え、優しく寄り添っていきます。

今日から始まる中学校生活の三年間。全員で助け合い、支え合い、学び、楽しんで充実した時間を過ごしてください。東海中学校の新しい一ページを共につくっていきましょう。

